



### 元気に満100歳を迎えました

#### 鈴木いくさんに松竹梅敬老祝金

2月17日に満100歳の誕生日を迎えた鈴木いくさん(西益岡町)宅を風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金100万円を贈り、長寿を祝福しました。

現在も元気に老人クラブの活動に参加したり、趣味の短歌を詠んだり、人生を楽しんでいるいくさん。100歳を迎えるに当たり、「身に余る祝福を受け老いし身の静かな日々に感謝するのみ」という歌をご披露くださいました。

### 大平小学校児童が市内福祉団体に寄付

(2月27日、総合福祉センター)

同校児童会では4年前からアルミ缶などの回収を実施。その収益金で購入した高齢者体験セットを市社会福祉協議会に寄付しました(併せて仙南サナトリウムに車いす1台を寄付)。



▲福祉のために役立ててください!

### 第26回公民館まつり

(3月9~11日、中央公民館)

公民館で生涯学習に取り組む人たちの祭典として毎年開催されている恒例行事。今年も展示、即売、催事、発表の部に分け、日ごろの練習の成果を市民に披露しました。



▲若柳流宝梅会の皆さんによる日舞

### 北上市黒沢尻地区区長会が越河地区を訪問

(2月5日、越河公民館)

岩手県北上市の黒沢尻地区区長会の皆さん22名が研修のため越河公民館を訪問し、越河地域振興会の自主防災連合会や指定管理者としての活動について学びました。



▲活発な意見交換が行われました



▲1月には子どもさんが夫婦句歌集を出版

### チーム全員で息を合わせて!

#### 第16回市民綱引き大会

2月4日、ホワイトキューブで市民綱引き大会が開催されました。



▲優勝目指して引いて! 引いて!

かつてオリンピック競技であった綱引きは、現在では夏季オリンピックの翌年に開催される「ワールドゲームズ」でも開催されています。今年の大会には、小学生から一般まで、28チームが参加して熱戦を繰り広げました。

#### 【各部門の優勝チーム】

- 小学生の部 アルバルクキッズ
- 中学生の部 チーム2-1A (白川中)
- 一般の部 福岡スポーツクラブ

### 今日は同じ種目で勝負!

#### 第16回白石市スポーツ少年団交流大会

2月25日、ホワイトキューブにおいて、スポーツ少年団交流大会が開催されました。

今年の交流大会には、13のスポーツ少年団から約300名が参加。大縄跳びやぞうきん掛けリレーなど、それぞれのスポーツ種目にとらわれない競技で競い合い、参加者全員で心地よい汗を流していました。

この交流大会は、スポーツ少年団同士の親ばくと交流を図るため、平成4年から開催されています。



▲盛り上がった大縄跳び

### 今安全なまちを目指して!

#### 1年間交通死亡事故ゼロを達成

市内で交通死亡事故が1年間ゼロの記録を達成したとして、2月20日市役所において交通安全協会などの関係者約20人が出席する中、平賀宮城県警察本部交通部長から風間市長へ、「賛辞」が伝達されました。



▲賛辞の伝達を受ける風間市長

交通死亡事故は昨年2月17日、斎川の国道4号での発生以降1件もありません。出席した皆さんは、今後とも交通安全思想の普及徹底と、「安全なまちしろいし」を目指して決意を新たにしていました。

### 越河保育園児が火災予防運動を実施

(3月6日、越河中心部)

春の火災予防週間に合わせ、越河保育園の園児20名が「火の用心 戸締まり用心 火の用心」と呼びながら地区内を巡回し、地元の皆さんに火の用心を呼び掛けました。



▲火遊びは絶対にしません!

### 老人福祉センターでお別れ会を開催

(3月11日、老人福祉センター)

ボランティアグループ「サロン・サンサン」の皆さんが、地元施設として35年間お世話になった感謝の気持ちを込め、センター職員の皆さんとお別れ会を開催。楽しいひとときを過ごしました。



▲和やかな雰囲気にもまれた会場

### 「かつらの湯」入場者5万人達成

(3月7日、小原温泉)

小原温泉岩風呂「かつらの湯」の入場者が5万人を達成。5万人目となった福島県川俣町の田辺さんに、風間市長から小原温泉のペア宿泊券などの記念品が贈られました。



▲風間市長とくす玉を割る田辺さん

いよいよ4月。昭和生まれ最後の世代である高校生が、人生の次のステップへと進みました。例えば卓球の愛ちゃん、野球のマー君や佑君。新年度の高校生は平成生まれの生徒となり、昭和がまた一段と昔のことになったような気がします。

その昭和29年に、白石町と越河村・斎川村・大平村・大鷹沢村・福岡村・白川村の六カ村が合併して「白石市」が誕生しました。

そして昭和32年に小原村が編入され、現在の白石市が形づくられました。昭和の大合併です。

その時の人口が46,670人。昭和50年には40,862人まで減り、昭和60年に42,262人まで減り直したものの、そこから再び減り始め、そして平成17年7月、ついに4万人を割り、39,487

人となってしまいました。都市部とその近郊は微増しているものの、人口減少は全国的な問題であり、本市の場合も「微減」が続いています。原因はさまざまですが、とりわけ自然動態(生まれてくる人数と、亡くなる人の数の差

## 風間市長の「虫のサンサンやま」誕生

の影響が大きいと考えられます。「人口4万人を割る白石市」という見出しは、私にとっても市民の皆さんにとっても精神的ダメージが大きかったと思います。どこことなく寂しさを感じますし、気持ちも暗くなりがちです。

そこで打ち出したのが「4万人都市復活大作戦」です。市民一人ひとりが、もう一度わがまち白石の良さを見出し、その資産や資源を大いに生かして内外にアピールすることが大切だと思っています。そして人口が4万人に戻った

ときに、気概と自信を市民全員で共有し、次のステップに進むことができないのだと思います。人口が増加することは、経済活動に大きなプラス要因をもたらしますし、何よりも、まちに活気が生み出される一助になります。

「誕」とは、腹の中に隠れていた赤子が外に現れ出ることですが、「旦(隠れた日が地平に現れること)」や「蛋(腹に隠れた卵が外に出ること)」の「タン」という音と絡めて、特に人間の赤子が世に出ることをいう言葉になったように

す。自然動態の流れに逆らうぐらい、この白石で多くの赤ちゃんが生まれてくれると良いのです。が、まずは出会いの機会が多くなり、定住しやすい雰囲気と環境を整えられることが大切ですね。みんなで白石をピアーリングして



#### 【3月号の答え】

①埃及はエジプト、②越南はベトナム、③濠太刺利はオーストラリア、④秘露はペルー、⑤和蘭はオランダと読みます。ちなみにスペインは西班牙、メキシコは墨西哥、ブラジルは伯刺西爾。一度さまざまな国の漢字表記を調べてみるのも面白いと思います。